

平成29年度事業報告

I. 平成29年度の取り組み概要

これまで培った、KICC 構成機関の広域連携体制の下で、開放試験研究機器等データベースの更新と活用を図るとともに、構成機関のコーディネータや企業の研究開発から販路拡大までを伴走して支援する成功報酬型コーディネータと連携して技術課題解決に対するソリューションを提供した。

また、WEB 上で企業のニーズ（課題）とその解決に資するシーズとのマッチングや KICC の PR 等の広報活動を行った。

主な取り組みは、以下のとおりである。

1. 構成機関のネットワーク構築
2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進
3. 地域企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進
4. 成功報酬型コーディネータ制度の支援
5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用
6. 広報活動の実施

II. 個別の取り組み

1. 構成機関のネットワークの構築

(1) 通常総会及び特別講演会の開催

平成29年度の通常総会を開催し、平成28年度事業報告や平成29年度事業計画等に関して所要の審議を行った。また、通常総会終了後、特別講演会を行った。

① 通常総会

開催日：平成29年7月25日（火）

場 所：ハイアット リージェンシー 福岡（福岡市）

② 特別講演会

<特別講演>

・テーマ：ロボット活用によるものづくりの進化と今後の展望

・講 師：株式会社 安川電機 執行役員 ロボット事業部長 小川 昌寛 氏

<事例発表① 九州の産学官連携の取り組み>

・テーマ：産学官連携による高性能ギヤカップリングの開発

・発表者：株式会社 九州ハセック 開発事業部 次長 平田 進 氏

<事例発表② 広域的な取り組み>

・テーマ：航空機産業における多工程一貫受注体制構築に向けた取り組みについて

・発表者：株式会社 ウラノ 取締役 副社長 小林 正樹 氏

（出席者：通常総会 50名、特別講演会 106名）

(2) 構成機関の関係者とのネットワークの維持継続

- ・本会議事業の推進と円滑な運営を図るため、14人で構成する幹事会を開催し、平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画(案)等を審議した。
- ・32件にのぼる会員機関の公募情報や取組みを紹介した。
- ・なお、平成29年度末の本会議構成機関は63機関。

2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進

- ・九州の63の大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースの追加・更新を行うとともに、ホームページ等を通じたPR等を行った。
- ・平成29年度末の開放試験研究機器データベースの登録件数は1,747件。
- ・なお、公設試のデータの更新等は、九州地方知事会（工業系公設試連携事務局）の協力を得て実施した。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		H28年度末 登録件数	修正 件数	削除 件数	新規 件数	H29年度末 登録件数
公 設 試	福岡県	225	35	11	8	222
	佐賀県	173	102	5	10	178
	長崎県	150	105	2	7	155
	熊本県	203	14	16	0	187
	大分県	155	6	2	2	155
	宮崎県	171	0	0	0	171
	鹿児島県	130	123	7	1	124
	小 計	1,207	385	43	28	1,192
そ の 他	大 学	284	92	26	6	264
	高 専	44	28	5	11	50
	支援機関	221	97	7	22	236
	産総研	5	5	0	0	5
合 計		1,761	607	81	67	1,747

具体的な開放試験研究機器の事例

KICC 構成機関	開放試験研究機器	料 金
福岡県工業技術センター	理化学機器：真空熱処理炉	1,840円/時
佐賀県工業技術センター	分析・計測機器：酒類分析システム	1,100円/時
長崎県窯業技術センター	情報機器：CGワークステーションシステム	1,880円/時
大分県産業科学技術センター	3Dプリンタ	1,060円/時
宮崎県食品開発センター	分析・計測機器：電子味覚センサー	90円/時
九州工業大学	イメージング機器：共焦点レーザー顕微鏡	2,000円/回
熊本大学	分析・計測機器：線光電子分光装置XPS	34,668円/回

3. 地域企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進

(1) ワンストップサービスの推進

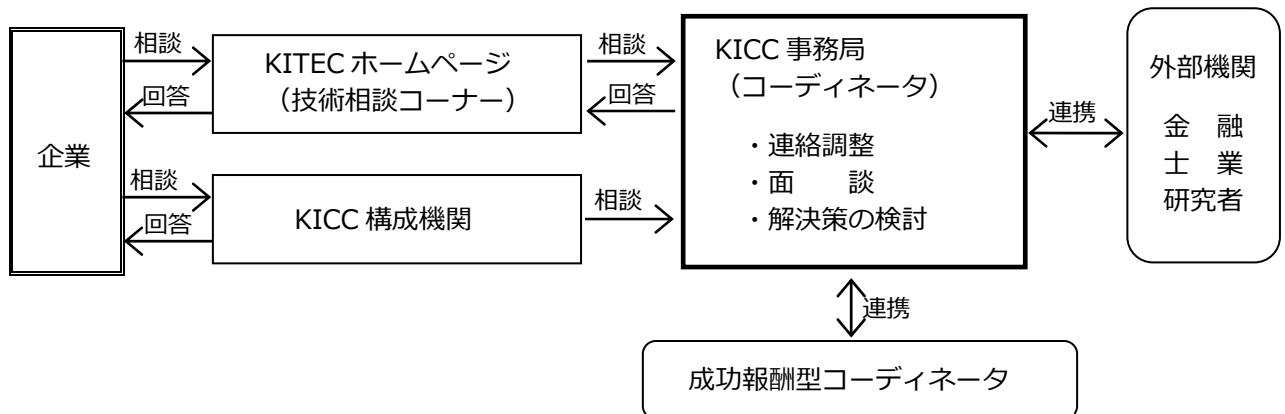
- ・技術相談について、(一財)九州産業技術センター（以下 KITEC と称す）及び国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター（以下 AIST Kyushu と称す）のコーディネータ等によるワンストップサービスを実施した。

平成 29 年度の技術相談件数：計 34 件

相談企業の分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ナノテク・材料・製造分野：15件 ・環境・エネルギー分野：6件 ・ライフサイエンス分野：5件 	<ul style="list-style-type: none"> ・標準・計測分野：4件 ・情報・通信分野：3件 ・地質・海洋分野：1件
技術相談と成果	<p>①鹿児島県のT社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全防水型の USB Type-C コネクタの鍛造による製造法の相談 ・研究開発内容の検討・評価・助言を行い、サポイン事業に申請し、採択 <p>②福岡県のK社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美容・健康素材プラセンタの機能向上の相談（活性酸素を分解する酵素の活性化方法のための常温濃縮技術） ・KITEC が行う「ブラッシュアップ研究会」で検討し、サポイン事業の提案に繋がった。 	

(注) サポイン事業：経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業で、サポーティングインダストリーを対象とした産学技術開発補助金（3年間、1億円の補助、補助率2/3）

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) 構成機関との連携による技術相談等の実施

- 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー事業
 - ・九州経済産業局と AIST Kyushu が主催、各県公設試共催で、構成機関の最新技術情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を開催した。
 - ・産総研 九州センター・公設試の研究シーズや公設試・産総研の合同成果発表会及び技術・知財等の無料相談会を開催し、6件の技術相談に対応した。

4. 成功報酬型コーディネータ制度の支援

(1) 概要

- ・ KITEC では、中小企業の新製品・サービスやビジネスモデルの開発と事業化及び販路開拓や取引の拡大並びに技術開発や知財取得等を成功報酬型契約に基づき、伴走型で支援する「成功報酬型コーディネータ事業」を平成27年度から実施している。
- ・ 個々の企業に定期的に出向いて、研究開発（技術の発掘、技術開発、試作品開発）、事業化計画（ビジネスモデル検討、事業計画作成、資金調達）及び販路拡大（マーケティング、マッチング）等のコーディネート活動を行った。
- ・ 平成29年度は、企業と成功報酬型コーディネータや KICC 会員との連携により、事業化の効率的な執行に努めた。

(2) 活動実績

- ・ 2人の成功報酬型コーディネータが合計174件の研究開発、事業化計画の策定、販路拡大に関する支援を実施し、成功報酬型新規契約件数は3件に達した。

成功報酬型契約の概要

契約種別	支援事業	支援内容	成功報酬の概要
成功報酬型	技術開発・事業化	・ 試作品開発 ・ 資金調達 ・ 技術供与 等	・ 開発費の5% ・ 調達資金の5% ・ ロイヤリティーの5%
	新規事業・事業化	・ 外部資金導入 ・ 顧客開拓	・ 獲得資金の5% ・ 当該製品の売上げの5%
有償支援型	試作品・事業化	・ デザイン、設計	・ 10万円/月のコーディネータ料

5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用

- ・ 九州や九州域外の企業の技術課題（ニーズ）を発掘し、KITECのWEBサイト（オープンイノベーション・ソリューション・サイト）で公開した上で、その課題を解決するソリューションを有する企業等とのマッチングを支援した。
- ・ なお、167件の新規登録や72件のマッチングがあった。

6. 広報活動の実施

- ・ KICCの専用ホームページを通して、関連情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者情報等の広報活動を実施するとともに各種の機会を通して、KICCの活動のPRに努めた。

Ⅲ. 予算額

- ・ 平成29年度は、通常総会及び特別講演会の開催費用等として、535千円を支出した。

以上